

戦略的大学連携支援事業「科学 Try アングル岡山」 行事等 報告書

行事名	2009年度第2回「科学大好きクラブ岡山」津山会場		
担当部門・機関	科学普及部門・津山工業高等専門学校		
開催日時・期間	2009年5月17日(日) 14:00~16:00	会場	津山工業高等専門学校 普通教室

《概要》

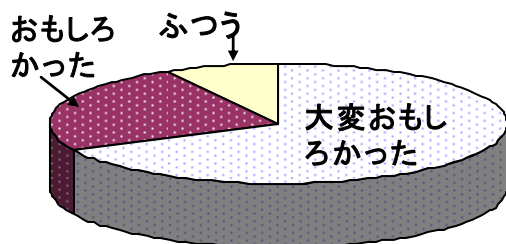
昨年、好評だった黑板チョコQと空気の流れを一部改良してそれぞれ「走れ！！黑板チョコQ」、「空気の流れのふしぎ」とし、新しいテーマとして「びっくり！！シャボン玉実験」を加えて開講した。講師は本学教員2名、学生補助員11名であった。

《参加者》

小学生31名、中学生1名、一般3名で合計35名になり、合計人数は前回までに比較してほぼ同数であったが、中学生が少なかった。

《報告事項》

1. 参加者アンケート結果

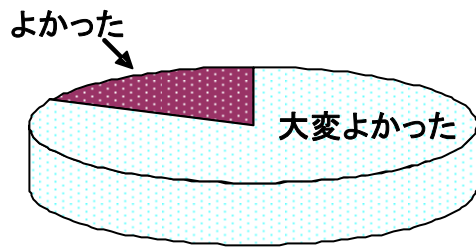


大変おもしろかった25名、おもしろかった9名、ふつう3名で第1回目に比較すると好評な結果であった。

(感想)

- ・ ロボットをまたやって欲しい (多数)
- ・ 空気砲の輪の中に入ったのが面白かった
- ・ シャボン玉実験で大きなシャボン玉やヘリウムで上に行くのが面白かった
- ・ ペットボトルの空気砲で風船を伸ばして輪を作った
- ・ 液体中に逆シャボン玉をつくるのが面白かった
- ・ チョロQを分解するのが面白かった(複数)
- ・ 新しいものを増やして欲しい
- ・ シャボン玉の色々な形が面白かった
- ・ 天文、昆虫などもやって欲しい
- ・ 今日楽しく過ごしました。
- ・ 大きな空気砲を撃ったところが面白かった
- ・ 高専ではどんな勉強をするかを学生さんに教えてもらった

2. 学生補助員アンケート結果



大変よかった 9名, よかった 2名で
11名全員に好評であった。

(感想)

- ・ 親子で楽しんでもらえ, 自分もこどもとふれあえて楽しかった (多数)
- ・ 参加者がいろいろなことに興味をもって好奇心旺盛であるのをみて自分にも必要だと思

った。

- ・ 教えることは難しい (複数)
- ・ こういうイベントに参加するのは自分にとって良い刺激になった
- ・ 回を重ねるごとに子供にとってどこが難しいかがわかり, 教え方を工夫できた
- ・ 他人に教えることは自分にとっても勉強になる
- ・ こどもから新しい提案をもらって今後のためになった。



チョコ Q の分解方法の説明を聞く
子供たち(写真左)

「びっくり!!シャボン玉実験」に見入る
子供たち (写真右)



「空気の流れのふしぎ」を体験する
子供たち (写真左)